

レオプラス[®] 800S/800SR

標準形 (I種)

遅延形 (I種)

国土交通省「NETIS」登録商品 No. KT-110021-A

RHEOPLUS[®] 800S/800SR

高性能AE減水剤 収縮低減タイプ

近年、コンクリート構造物の耐久性や美観への関心が高まり、乾燥収縮などによって生じるコンクリートのひび割れ対策が重要になっています。

レオプラス800Sおよびレオプラス800SRは収縮低減タイプの新しい高性能AE減水剤で、従来品の高性能AE減水剤と同様、高い減水性能と優れたスランプ保持性を有しつつ、さらに付加した収縮低減作用により、コンクリートの収縮ひずみを5～15%程度低減することができますので、ひび割れの少ない高品質・高耐久なコンクリートの製造を可能にします。

特長

1. 収縮低減作用を有する高機能型の高性能AE減水剤です。
2. 優れた減水性とスランプ保持性があり、かつ施工性に優れた高品質なフレッシュコンクリートの製造ができます。
3. 従来の高性能AE減水剤と同じ使用方法で、硬化コンクリートの収縮ひずみを5～15%程度低減することが可能です。
4. レオプラス800SはJIS A 6204「コンクリート用化学混和剤」の高性能AE減水剤 標準形 (I種) に、レオプラス800SRは高性能AE減水剤 遅延形 (I種) に適合します。

主成分および物性

種類	主成分	外観	密度 (g/cm ³ , 20°C)	全アルカリ量* (%)	塩化物イオン量* (%)
レオプラス800S	ポリカルボン酸エーテル系化合物と ポリグリコール誘導体の複合体	赤褐色液体	1.05～1.13	0.5	0.01
レオプラス800SR			1.06～1.14	0.5	0.01

*全アルカリ量、塩化物イオン量は分析値例です。

使用量と使用方法

1. 所要の収縮低減作用を得るためのレオプラス800Sおよび800SRの標準的な使用量は、どちらもセメント質量に対して1.5%です。ただし、要求される収縮低減性能や配(調)合、使用材料などの諸条件を考慮し、事前に試し練りを行って使用量を決定してください。
2. 本剤は、単位水量の一部として水に混合してご使用ください。

空気量の調整方法

レオプラス800Sおよび800SRには、基本タイプの他に低空気連行タイプ(X₁～X₄)があります。また、これらを用いたコンクリートの空気量の調整には、弊社AE剤マイクロエア202、マイクロエア775Sまたはマイクロエア775をご使用ください。なお、他のAE剤をご使用になる場合は、当社セールスマンにご相談ください。

性能

JJIS A 6204「コンクリート用化学混和剤」による性能評価例

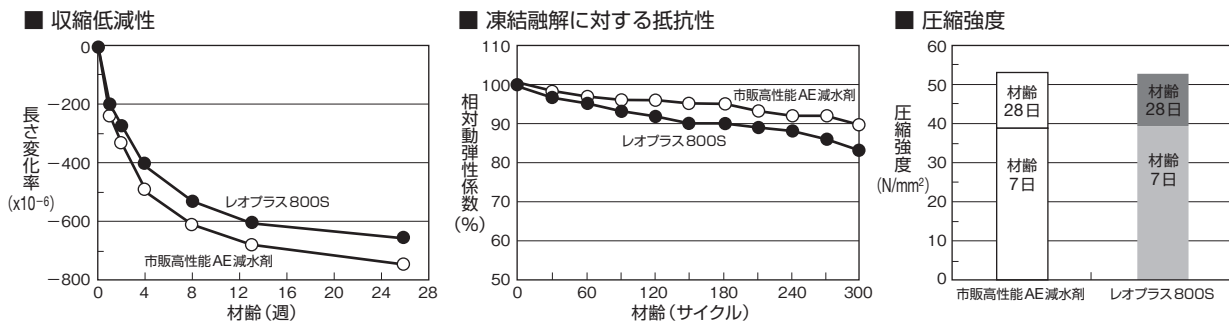
試験項目	レオプラス 800S			レオプラス 800SR			
	高性能AE減水剤 標準形規定値	試験値	評価	高性能AE減水剤 遅延形規定値	試験値	評価	
減水率 (%)	18以上	19	適合	18以上	19	適合	
ブリーディング量の比 (%)	60以下	31	適合	70以下	41	適合	
凝結時間の差 (分)	始発	-60~+90	+60	適合	+60~+210	+85	適合
	終結	-60~+90	+80	適合	0~+210	+95	適合
圧縮強度比 (%)	材齢 7日	125以上	147	適合	125以上	142	適合
	材齢 28日	115以上	124	適合	115以上	129	適合
長さ変化比 (%)	110以下	90	適合	110以下	86	適合	
凍結融解に対する抵抗性 (相対動弾性係数 %)	60以上	91	適合	60以上	92	適合	
経時変化量	スランプ (cm)	6.0以下	-1.5	適合	6.0以下	0.5	適合
	空気量 (%)	±1.5以内	-0.7	適合	±1.5以内	-0.5	適合

(注)財団法人 建材試験センターによる形式評価試験結果、レオプラス 800Sおよび800SRの使用量:セメント質量に対して各1.6%

試験結果例 (市販高性能AE減水剤との比較)

試験条件/水セメント比47.5%、単位水量170kg/m³

普通ポルトランドセメント(密度3.16 g/cm³)、陸砂(表乾密度 2.57g/cm³)、硬質砂岩碎石(表乾密度 2.65g/cm³)
レオプラス 800S (C×1.5%)、市販高性能AE減水剤 (C×1.0%)



使用および取扱上の注意事項

1. 本剤を推奨する使用量の範囲外で使用する場合は、あらかじめ性状を確認するか、当社セールスマンにご相談ください。
2. 本品は他の混和剤や雨水・異物等の混入がないように、また凍結しないように(凍結温度: -1.0℃)保管してください。
3. 凍結した場合は、暖めながら静かにかくはんし、融解させてからご使用ください。
4. 取り扱いに当たっては、保護メガネ、ゴム手袋等の保護具を着用してください。
5. 目に入った場合は、速やかに清浄な水で十分洗眼した後、専門医の診察を受けてください。
6. 皮膚に付着した場合は、速やかに水で洗い流し、必要に応じて専門医の診察を受けてください。
7. 飲み込んだ場合は、多量の水を飲ませ、専門医の診察を受けてください。
8. 廃棄する場合は、都道府県知事の許可を受けた処理業者に処理を委託してください。
9. 使用及び取扱いの前に、当社の製品安全データシート(MSDS)をお読みください。

荷姿

21kgポリ内装箱、バルク



The Chemical Company

※本商品についてのお問い合わせは、最寄りの事業所および技術センターまでご連絡ください。

BASF ポゾリス株式会社

本 社 〒106-6121 東京都港区六本木6丁目10番1号 (代) TEL 03-3796-9710 FAX 03-3796-9980
六本木ヒルズ森タワー 21階

仙台支店 TEL 022-224-1631 FAX 022-224-1634	札幌営業所 TEL 0123-88-1245 FAX 0123-88-1061
東京支店 TEL 03-3796-9900 FAX 03-3796-9960	宇都宮営業所 TEL 028-621-5261 FAX 028-621-5263
千葉営業所 TEL 043-203-1770 FAX 043-203-1772	神奈川営業所 TEL 0467-84-4166 FAX 0467-84-4299
名古屋支店 TEL 052-220-1113 FAX 052-220-1713	上越営業所 TEL 025-524-1777 FAX 025-524-3852
静岡営業所 TEL 054-647-3738 FAX 054-647-3739	(松本 高岡事務所)
大阪支店 TEL 06-4964-7240 FAX 06-4964-7244	高松営業所 TEL 087-833-0271 FAX 087-833-0218
福岡支店 TEL 092-481-1271 FAX 092-481-1273	広島営業所 TEL 082-543-2520 FAX 082-543-2505
鹿児島営業所 TEL 099-263-8740 FAX 099-263-8741	

技術センター 技術的なお問い合わせ 混和剤製品 TEL 0467-87-8205 建材製品 TEL 0467-87-8207

www.pozzolith.basf.co.jp

- ロゴ・マークならびに弊社の混和剤・床材・グラウト材・補修材をはじめとする各種建設材料の商品名® マークを付記したものは、BASF社の登録商標です。
- ここに記載された事項は、標準的な試験法に準拠した弊社の実験データにもとづくものでありますが、多岐にわたる条件下での実際の現場結果を確実に保証するものではありません。
- 万が一、本資料に提示する以外の方法や分野で本商品をご使用頂く場合には、ご使用者側にて調査検討下さいようお願い致します。
- 本記載事項は、新しい知見により予告なく変更する場合がございますのでご了承ください。
- BASF ポゾリス(株)は、生産統括部及び開発・技術センターにて、ISO9001及びISO14001を審査登録しています。

